

## 1学期より優れた2学期の自分を目指して！



2学期がスタートしました。始業式に元気な子供達の顔を見ることができ、大変嬉しく思いました。始業式に子供達に話した内容です。

始業式式辞  
から



(前略) 2学期は、113日あります。このうち学校に来るのは、76日です。1年間で一番長い2学期ですが、日数にすると76日しかありません。勉強もスポーツも、みなさんが頑張るのは今です。みなさんにとって、今しかできないことがあります。すべきこと、しなければならないことをやりきって、悔いの残らない一日一日として下さい。

そのためにも、今日、学級で2学期の目標を決めると思いますが、その時に、1学期の終業式に紹介したイギリスの探検家ラポックの言葉を思い出してください。

『他人と比較して、他人が自分より優れていたとしても、それは恥ではない。

しかし、去年の自分より今年の自分が優れていないのは立派な恥だ。』という言葉です。

1学期の自分よりも、優れた2学期の自分を目指して、具体的、かつ、実現可能な目標を立てて頑張ってください。

また、その目標到達のために絶対に忘れてはならないことがあります。それは、何かわかりますか。「栗原しぐさ」です。

○立ち止まり、目を見て挨拶をする ○ゆずる気持ちを大切にする

○気持ちのよい学びの場を作る です。

挨拶は、1学期の終わりには、たくさんの方ができるようになりました。2学期も引き続き、挨拶をする人を増やしていきましょう。そして、できれば、自分からできるようになるといいですね。

ゆずる気持ちを持つことは、友達のことを先に思うことで、友達や周りの人のために行動する強くて優しい心を持つことにつながります。ゆずる気持ちを忘れないでください。

気持ちのよい学びの場を作ることも、挨拶と同様に、1学期の終わりにはずいぶんできるようになりました。「栗小 学習ベーシック」や「三つのピ」を完全に身につけ、その上で、お互いの意見をしっかり交流できる授業を先生とつくっていきましょう。

それでは、2学期も みなさん一人一人の實りに期待しています。そして、2学期の終わりには、1学期より優れた自分を発見できるように頑張らしましょう。



この夏、コーラス部やブラスバンド部、子ども会のソフトボール部とフットベースボール部などの皆さんは、夏休み返上で練習に取り組みました。その結果、コーラス部はNHK全国学校音楽コンクール広島県大会で銅賞を、フットベースボール部は第三位を、栗原平木山クラブは西日本学童軟式野球大会でベスト16を受賞しました。

おめでとうございます！

